

飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

発行者：飯豊連峰保全連絡会

■飯豊連峰保全連絡会 第 18 回会合の概要について

平成 29 年 1 月 25 日（水）、新潟県関川村村民会館にて開催されました。会合では、①平成 28 年度各団体活動報告、②平成 29 年度飯豊連峰保全連絡会活動計画、③その他の議題について話し合われました。会合の概要をまとめましたので、お知らせします。

議題① 平成 28 年度各団体活動報告

飯豊連峰に関わる山岳団体、関係行政機関等の各団体より持ち寄られた登山道整備や保全活動等の活動計画の報告、情報交換が行われました。



【平田代表の挨拶】



【会合の様子】

議題② 平成 29 年度飯豊連峰保全連絡会活動計画

当会の平成 29 年度活動計画について協議し、下記の表のとおり承認されました。各活動におきましては、詳細が決定次第、事務局よりご案内いたします。

なお、年 2 回の会合の内、2 回目の会合については例年 1 月頃に実施していたところでしたが、会規約に基づき 11 月に開催にすることとなりました。

平成 29 年度飯豊連峰保全連絡会活動計画

| 活動 | 日程 | 場所 | 内容 |
|----------|--|------------------|-------------------------------|
| 第 19 回会合 | 6 月 1 日(木) | 胎内市産業文化会館 | 平成 29 年度活動計画等 |
| 合同保全作業 | 9 月 9 日(土)～10 日(日) (1泊2日) | 飯豊連峰 種蒔山付近 | 詳細は未定 |
| 第 20 回会合 | 11 月 7 日(火) | 喜多方市 山村開発センター | 平成 29 年度活動報告 平成 30 年度活動計画等 |
| 技術講習会 | 技術部会に一任 (後日、技術部会において協議した結果、8 月 26 日(土)～27 日(日)(1泊2日)、川入口周辺において、朝日連峰保全協議会と合同で開催することとなりました。講師については、北海道大雪山で保全活動に取り組まれている方を招く予定です。) | | |

その他

●これまでの保全作業の結果や今後の活動について

当会で実施している保全の結果について、なかなか進捗状況が見えにくいという意見をいただき、今後の当会の活動について、下記のような意見交換がなされました。

- ・登山道と離れた天狗ノ庭のような場所では、一度の活動でもそれなりの効果は出やすいのではと感じる。しかし、登山道では1年経過すると結果が見えにくい場所も多いような印象も受けている。各山岳会で地域に合わせ、継続的に取り組むことについても今後検討をお願いしたい。また、その場合は一定の技術レベルを確保するため、技術部会会員の派遣もお願いしたい。
- ・稜線上は破壊が進行していたが、この10年間で進行の鈍化が見られる。保全作業の手法が進歩している。復元の方向に進んでいるのは一番大きな成果ではないだろうか。

発足当初、稜線上の植生回復技術・取組について全国的にも確立されていない状態でした。保全の取組は、手探りで活動しながら、長い時間をかけて試行錯誤を繰り返してきた経緯があります。飯豊・朝日の稜線上の保全技術は現在、全国的に見ても進んでおり、参加者の皆様の知識と技術も年々深まっている状態となっています。

ただ、保全作業の記録や技術講習会の結果等の情報発信不足も感じられるところですので、今後はこれら情報についても広く公表していけるよう努めて参ります。なお、現状公開されている記録等は下記HPにて取組の履歴に関するリンク貼付にご協力いただき、閲覧できる状態となっています。

■飯豊朝日連峰の登山者情報 「NPO 法人飯豊朝日を愛する会」により運営

<http://www.ic-net.or.jp/home/iide/hozenn.html>

■環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料 (飯豊連峰保全協議会の会則やニュースレター等)

<https://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>

●年2回目の会合について (写真等を用いた報告を頂ける方を募集します)

今後年2回目の会合(直近では第20回会合)においては、写真等を用いて登山道の保全に関わりのある山岳域等での現状報告を頂ける方を募集いたします。

ご報告いただける方は事務局までご連絡頂けると幸いです。

●資材提供のお願い

当会の合同保全作業等で使用しているヤシ土嚢等の保全資材につきましては、近年の保全技術向上による作業効率化に伴って、一度に使用する資材量が増えており、資材調達に苦慮しているところです。ついては資材のご提供をお願いしたいと思います。

ご提供いただける場合は、事務局までご一報いただけますと幸いです。

●その他

世界遺産に関する動向や、銀行からの資材・運搬費用等の助成、胎内口の乗合タクシーの運行状況等について意見交換・情報共有がなされました。

第18回会合では20団体32名の方々にご参加いただきました。来年度も飯豊連峰に関わる皆様と手を携え保全活動・情報共有を進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【発行者】飯豊連峰保全連絡会

(事務局)羽黒自然保護官事務所(下本・古川) しももと ふるかわ 〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777 / 080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp